

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふぁんた			
○保護者評価実施期間	2024年 8月 10日		～	2024年 9月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数)	29
○従業者評価実施期間	2024年 8月 10日		～	2024年 9月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 10月 21日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	室内でもバスケットボールや大縄跳びなどの運動を行えること	外遊びは行っていないが、室内や隣接しているシューティングハウスでグループに分けて、広い空間で療育ができています。その中で、チームプレイの中でコミュニケーション能力を培っている。	課外活動等を行い、運動できる幅を広げたり、違った環境での運動（チームワークやルール等）ができるように検討していく。
2	子どもたちが自己選択できるような支援を行っていること	療育内容をスタッフが固定することもあるが、子どもたちが選択できるようにスタッフが間に入りルール決めをしたりできている。宿題がある子どもに対しても自ら宿題の時間を決め自己決定をする力を育てるための支援している。	スタッフからの声のかけ方については、声かけのポイント・対応のグループワークを都度行っており、より子どもたちからのサインに気づき目つやる気を引き出す方法を共有していく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	イベントや課外活動がないこと	現在、室内や隣接しているシューティングハウスでのイベント等は開催していなかった。 買い物学習やイベント、公園での活動を要望としている利用者様も増加しているので、検討していく。	買い物学習やイベント、公園での活動をするにあたって、より子どもたちの安全確保の仕方やどのように開催しているのかを他業所に情報を提供してもらおう。そこで、一緒に連携して、他業所等と交流できるようにしていく。
2	父母や兄弟と一緒に交流する機会がないこと	イベント等を行っていないことが要因の1つであり、保護者様も参加できるイベントを今後検討していく。	保護者会等で、保護者様の子どもたちの要望などを情報共有していく。その中で、年に数回荷わたって父母会や兄弟が交流できる機会を増やしていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ふぁんた

公表日 2024年10月26日

利用児童数 35

回収数 29

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	5	0	1	天井が高くボール遊びを室内でできるの ありがたいです	引き続き、十分なスペースで活動できる ように努めてまいります
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22	3	0	4	若い職員が多くいつも活気がある	適切に職員配置できています
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	3	0	4	やわらかい床でけが防止で助かっていま す	引き続き、バリアフリーなど適切な配慮 をしています
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26	2	0	1	運動だけをするスペースがあり安心です	今後も清潔に良い環境づくりをしていき ます
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	4	1	2		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25	2	0	2		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27	2	0	0	私が気づいていない強みや課題を知るこ とができています	今後も利用者様のニーズに合わせて、作 成させていただきます
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	4	0	2	領域ごとに細かく書かれており、いつも 分かりやすいです	引き続き、具体的に支援内容を設定でき るように努めてまいります
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24	1	0	4		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	4	1	2		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	8	4	12	他事業所や地域と活動もあれば、よいと 思います。	現在のところ交流無し。 今後は検討します
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26	2	0	1		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28	0	0	1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	8	5	11	家族等も参加できる研修や情報提供をし ていただきたい。	家族等も参加できる研修会等の機会を検 討します
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	22	5	0	2		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	8	2	3		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	4	1	3		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	9	11	6	今後イベント等開催して頂けると嬉しい です。	父母の会や兄弟向けのイベント等を今後 開催することを検討します
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	7	1	4		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	3	0	2		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17	4	2	6	もう少し分かりやすい周知をしていただきたいです。	SNS等で発信していますが、より保護者様に周知できるように努めてまいります
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	2	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	7	1	7		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	5	2	11	もう少し分かりやすい周知をしていただきたいです。	SNS等で発信していますが、より保護者様に周知できるように努めてまいります
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	5	0	5		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23	3	1	2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	27	2	0	0		今後も子どもたちに安心感をより持てるよう努めてまいります
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27	2	0	0		今後も子どもたちによりご満足いただけるよう努めてまいります
	29	事業所の支援に満足していますか。	26	3	0	0		今後もご満足いただけるよう努めてまいります

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ふぁんた		2024年 10月 26日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		利用定員に対して適切なスペースが確保できている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7		適切な人員配置ができています	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		床は柔らかい素材を使用。段差は小さくなるようステップを置いている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		子どもたちが心地よく過ごせるように清掃し、環境づくりができています	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		宿題などする子どもたちは個別の部屋を使用することを認めている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		定期的にミーティングを行っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		保護者向けアンケートを活用し業務改善へと繋げている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		定期的にミーティングを行っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		現在は行えていません 今後は検討します
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		定期的に職員研修を行っている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		支援プログラムを作成し、公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		保護者様にニーズや課題をアセスメントし、またアセスメントシート等を使用し計画を作成している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		定例会議に議題を出し、必ずスタッフ間で共有している	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		定例会議に議題を出し、必ずスタッフ間で共有している	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		子どもの状況や保護者のニーズに合わせて計画を作成している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		個々に合った5領域の元具体的に放課後等デイサービスガイドラインに沿って、支援内容を作成している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		定期的にミーティングを行い、立案を行っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		時にはご利用児たちと一緒に新たなプログラムを考えたり活動プログラムを工夫している	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		子どもの状況や保護者のニーズに合わせて計画を作成している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		送迎車割表、担当表などを作成し、その日の支援内容等も打合せしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		支援終了後に振り返りを行い、情報共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		毎日支援記録を必ず記入し、振り返りに活用している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		6ヶ月に1回モニタリングを行い、状況に合わせて見直しを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7		基本活動を組み合わせ支援を行っている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		子どもが自己選択できるように、宿題の時間など自分で時間を決める等工夫している	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		適切な職員が参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		相談支援専門員や学校教諭と連携を取っている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		下校時間表等を各学校から共有してもらっている。利用者様の体調等も送迎時に確認している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		相談支援専門員の方を通して情報共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		該当ご利用児なし 必要に応じて相談支援員を通じて情報提供している	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7		助言や研修会に参加している	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		7		今後、地域と連携イベント等開催を検討します
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7		適切なスタッフが積極的に参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時にできるだけ詳しく伝えている。 連絡ノート等も活用している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		7		定期的に面談等は実施している。 トレーニングまでには至っていない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		適切なスタッフが丁寧な説明を行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		連絡帳や送迎時等で保護者様からのニーズを確認している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		個別支援計画作成後に保護者に説明し、同意を受けている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		兄妹等の悩みにも助言を行っている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		7		今後は父母参加型のプログラムを積極的に取り入れていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情、相談等があった際は迅速に対応している。記録にも残している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		月1回ペースでホームページやSNS等でも定期的に情報を発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		スタッフにも周知徹底を図っている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		支援ツールも使い、配慮しながら支援を行っている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7		今後、地域と連携しイベント等開催を検討します
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		各種マニュアルを作成している。周知をおこなっている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		年2回以上の避難訓練を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		面談時に確認。ならびにサポートブックにも記載していただいている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		面談時に確認。ならびにサポートブックにも記載していただいている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画を作成している。必要な研修や訓練を定期的に行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		当事業所の安全対策に関しては、契約時等で説明している	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ミーティング・会議時にも使い、再発防止に取り組んでいる	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		虐待防止に関する責任者が研修を実施し、委員会も参加している	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		身体拘束関しての同意書を別途で作成し、サインしていただいている	